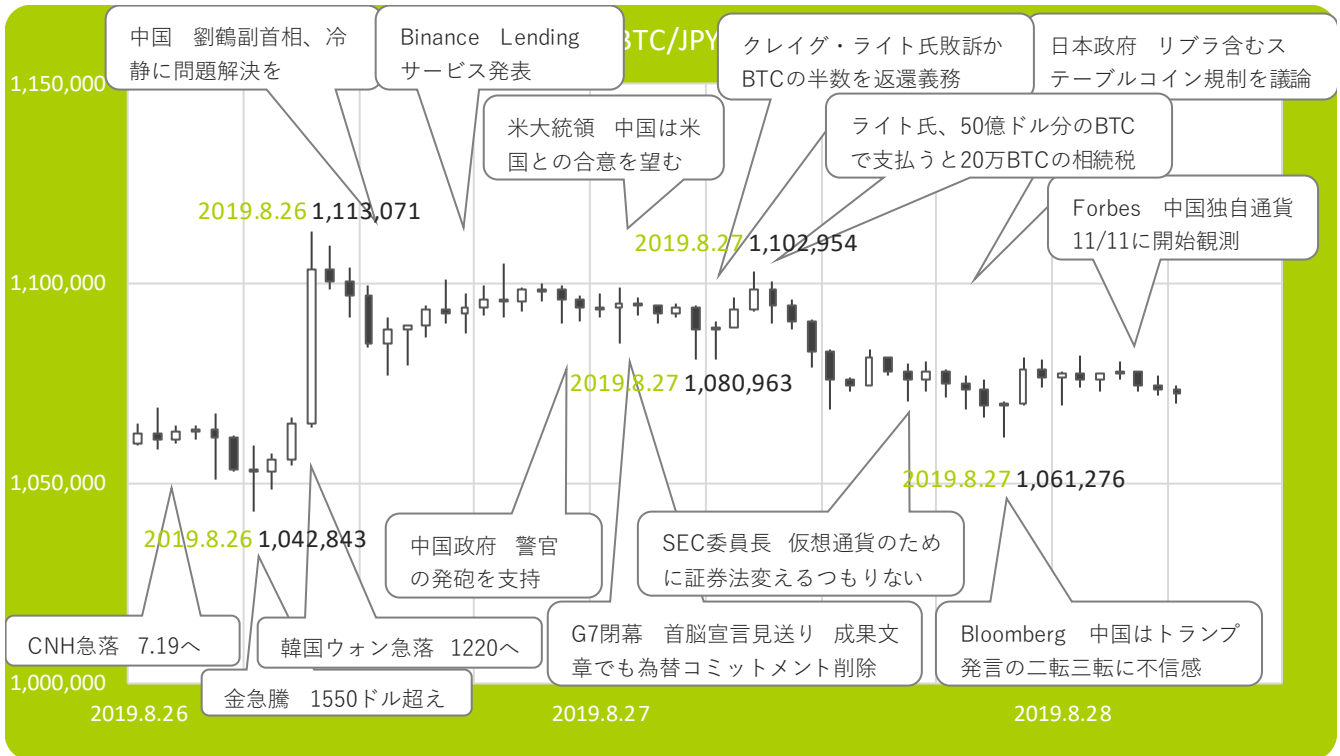


## 【2000 億円分ビットコインの売り？ライト氏裁判の影響を試算】



通貨	BTC	ETH	XRP	BCH	LTC
価格	1,073,243	19,768	28.4	32,777	7,704
前日比	▼1.4%	▼0.5%	▼0.3%	+0.2%	▼1.2%

### Review

#### クレイグ・ライト氏敗訴

昨日のBTC相場は狭いレンジでの動意の薄い展開。100万円台半ばでの底堅さも見せたが、110万円近辺での上値の重さも印象付ける展開となった。ジャクソンホール・G7サミットといったイベントを経て、市場は金融緩和、通貨安競争といった方向に反応、昨日もオンショア人民元は11年ぶりの安値を更新している。そうした中、米大統領の中国から合意を望む電話があったとのツイートもあり上値を重くしていた。元自称サトシのクレイグ・ライト氏がかつて共同採掘をしていたクレイマン氏の遺族との裁判で敗訴、55万BTCの支払いを余儀なくされるとの速報に続き、同氏がインタビューに答えBTCで支払う意向と、その場合、相続税として20億ドルの売り圧力となったこととしたことで上値を重くした。その後、中国当局が電話を確認できないとし、毀誉褒貶の激しいトランプ氏との合意を不安視しているとの観測記事もあり金価格などが急騰したが、BTCの反発は限定的に止まった。

### Outlook

#### 将来の売り圧力

本日のBTC相場は底堅いが上値の重い展開か。クレイグ氏が指摘する様に仮に相続税支払いの為に20万BTCの売り圧力となった場合を考えると、Mt.Goxの管財人が2018/3/7~6/22までに2.5万BTCを売却した際に相場は10000ドルから6000ドルに4割下落した。今回はその8倍の売り圧力で、但し当時と比べこの3か月の出来高は3.5倍になっていることを勘案しても、当時の2倍以上のインパクトがある。すぐ売りが出る訳でもなく、同氏が110万BTC保有しているかも不透明だが、将来の売りがしばらく上値を重くする可能性があるか。

#### 著作権表示©2019 FXcoin 株式会社

本レポートは一般的な情報提供を目的に作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。レポート内のいかなる情報又は意見も、仮想通貨の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。本レポートは信頼できるとされる情報に基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではありません。本レポートは予告なしに内容が変更されることがあります。本レポートは著作物であり、著作権法により保護されております。当社の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家へ配布することはできません。